

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 6 年 8 月 26 日(2024.8.26)

【公開番号】特開 2024-38441(P2024-38441A)
【公開日】令和 6 年 3 月 19 日(2024.3.19)
【年通号数】公開公報(特許)2024-051
【出願番号】特願 2024-6451(P2024-6451)
【国際特許分類】

H 0 4 N 19/105(2014.01)

10

H 0 4 N 19/176(2014.01)

【F I】

H 0 4 N 19/105

H 0 4 N 19/176

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 14 日(2024.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ビデオビットストリームから、ビデオ画像から区画された複数のブロックを取得することと、

現在のブロックに対し、それぞれが 1 つまたは複数の動きベクトルを含む複数の候補を含む第 1 のマージリストを導出することと、

単一予測マージ候補リストを作成することなく、それぞれが前記第 1 のマージリスト内の対応する候補の 1 つの動きベクトルを含む複数の単一予測マージ候補を前記第 1 のマージリストから直接に取得することと、

30

前記複数の単一予測の動きベクトルを用いて前記現在のブロックの予測子を取得することと、

を含み、

前記第 1 のマージリスト内の各候補はリスト 0 動きベクトル及びリスト 1 動きベクトルのうちの少なくとも 1 つを含み、各単一予測マージ候補は前記第 1 のマージリスト内の各候補の前記リスト 0 動きベクトル及び前記リスト 1 動きベクトルのうちの 1 つのみを含むビデオ復号化のための方法。

【請求項 2】

各単一予測マージ候補は整数値のマージインデックスに関連付けられており、前記リスト 0 動きベクトル及び前記リスト 1 動きベクトルは、前記単一予測マージ候補のための予め設定されたルールに基づいて選択される、請求項 1 に記載の方法。

40

【請求項 3】

複数の単一予測マージ候補を取得することには、前記第 1 のマージリスト内の各候補のリスト 0 動きベクトル及び/又はリスト 1 動きベクトルが、特定の順序に基づいてインデックスされる、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

マージインデックス値を有する各単一予測マージ候補は、前記第 1 のマージリスト内の、同じマージインデックスを有する対応する候補のリスト 0 動きベクトル又はリスト 1 動きベクトルを含む、請求項 2 に記載の方法。

50

【請求項 5】

偶数のマージインデックス値を有する各単一予測マージ候補は、前記第 1 のマージリスト内の対応する候補のリスト 0 動きベクトルが利用可能なであると決定された場合、当該対応する候補のリスト 0 動きベクトルを含み、または、前記対応する候補のリスト 0 動きベクトルが利用できないと決定された場合、前記第 1 のマージリスト内の対応する候補のリスト 1 動きベクトルを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 6】

奇数のマージインデックス値を有する各単一予測マージ候補は、前記第 1 のマージリスト内の対応する候補のリスト 1 動きベクトルが利用可能なであると決定された場合、当該対応する候補のリスト 1 動きベクトルを含み、または、前記対応する候補のリスト 1 動きベクトルが利用できないと決定された場合、前記第 1 のマージリスト内の対応する候補のリスト 0 動きベクトルを含む、請求項 2 に記載の方法。

10

【請求項 7】

第 1 の範囲内にあるマージインデックス値を有する各単一予測マージ候補は、前記第 1 のマージリスト内の対応する候補のリスト 0 動きベクトルを含み、第 2 の範囲内にあるマージインデックス値を有する各単一予測マージ候補は、前記第 1 のマージリスト内の対応する候補のリスト 1 動きベクトルを含む、請求項 2 に記載の方法。

【請求項 8】

1 つまたは複数のプロセッサと、

前記 1 つまたは複数のプロセッサによって実行可能な命令を格納するように構成されるメモリと、

20

を含み、

前記 1 つまたは複数のプロセッサは、前記命令を実行すると、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法を実行させるビデオ復号化のための装置。

【請求項 9】

ビットストリームを格納している命令を含む非一時的なコンピュータ読取可能な記憶媒体であって、

前記命令は、1 つまたは複数のプロセッサによって実行されると、前記 1 つまたは複数のプロセッサに、前記ビットストリームを用いて請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法を実行させる、非一時的なコンピュータ読取可能な記憶媒体。

30

【請求項 10】

ビットストリームを格納するための命令を有するコンピュータプログラムであって、

前記ビットストリームは、請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法で復号化される符号化ビデオデータを含む、コンピュータプログラム。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の方法により使用されるビットストリームを格納するための方法。

40